

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5338 日本語を学ぶ③			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	金曜1限				
教室	D109教室				
代表教員	稲葉 有祐				
担当教員	稲葉 有祐				
テーマと到達目標	『古今和歌集』の読解を通じて古語の持つ力や機能について学びます。例えば、「サクラ」という言葉から、植物という意味のほか、あなたのような感情を揺り起こすでしょうか。日本において、言葉のイメージは、多く和歌を通じて編み出されてきました。本授業では、和歌に用いられた言葉「歌語」を知ることにより、日本語に対する、より深い考察ができるようになることを目指します。また、くずし字解読の基礎を習得します。				
概要	『古今和歌集』は、延喜5年(905)に奏上された最初の勅撰和歌集です。勅撰とは、天皇が命じて撰進させたことを言います。この『古今和歌集』の美意識は、以後の日本文化の規範となり、大きな影響を与えました。本授業では、かつての日本人が用いていたくずし字で作品を読み、中世・近世期の人々の考え方(古注)を参照しつつ、和歌の修辞法や言葉の背景・イメージの広がりを探ります。そして、四季折々の自然・微妙な心の動きが言葉によっていかに捉えられているか、ということに注目して和歌を精読していきます。時に作者の逸話・説話にも触れながら、古語の世界を堪能しましょう。なお、授業は講義形式を予定、期末レポートを課します。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	『古今和歌集』概説・くずし字について				対面授業
第2回	仮名序と和歌の基礎事項				対面授業
第3回	和歌の分析 春歌上				対面授業
第4回	和歌の分析 春歌下				対面授業
第5回	和歌の分析 夏歌				対面授業
第6回	和歌の分析 秋歌上				対面授業
第7回	和歌の分析 秋歌下				対面授業
第8回	和歌の分析 冬歌				対面授業
第9回	和歌の分析 賀歌・離別歌・羈旅歌・物名歌				対面授業
第10回	和歌の分析 恋歌一・二				対面授業
第11回	和歌の分析 恋歌三・四				対面授業
第12回	和歌の分析 恋歌五				対面授業
第13回	和歌の分析 哀傷歌・雑歌上				対面授業
第14回	和歌の分析 雑歌下・大歌所御歌・東歌				対面授業
第15回	まとめ				対面授業
成績評価の基準	授業時に指示する課題(50%) 期末レポート(50%)				
履修にあたっての留意事項	「日本語を学ぶ④」(後期)と合わせて履修することを勧めます。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	中島輝賢編『ビギナーズ・クラシックス日本の古典 古今和歌集』（角川ソフィア文庫、2007年）。その他、プリントを配布します。受講にあたっては教科書・配付資料をよく読み、問題点を整理しておいてください（予習復習60分）。	教科書(ISBN)	9784043574186
参考文献	授業時に適宜指示します。	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--